

ニホンナシの発芽予測

2022年3月17日 南信農業試験場

<気温経過>

- ・昨年10月下旬～12月は、気温の高低はあったものの、平年並み～暖かい日が多かった。
- ・1月以降は低温になり、平年よりも0.7～2.8℃低くなった。

<これまでの生育>

- ・10月～1月まで4カ月の平均気温は平年並みであったが、特別気温では自発休眠覚醒に効果的な温度（0～6℃）に遭遇する時間が少なかった。
- ・生育予測モデルによる自発休眠明けは平年に比べて7～8日遅い1月29日～31日頃と推測された。本年の休眠明けは、記録的な暖冬であった昨年と同時期である。
- ・3月に入り気温の高い日が続き、生育の遅れは急速に回復している。
- ・3月17日現在の生育は、平年より3日早いと推測される。

<生育予測>

- ・3月17日時点の品種ごとの発芽日を、今後の気温が平年より-1℃、0℃、+1℃、+2℃で経過した場合の予測値を示した（下表）。
- ・3月10日発表の1か月予報によると、向こう1か月の気温は平年よりも高い確率が60%である。
- ・3月下旬ころまでは気温の高い日が続くと予想されている
- ・今後の気温が平年よりも1℃高く推移した場合、発芽は平年よりも2日～5日程度早まると予測される。
- ・生育は今後の気象の影響を受け、特に発芽期に近づくほど強く受けるので、今後の気象の推移や、生育状況を注視する。

表 令和4年3月17日の時点での発芽日の予測値

今後の気温	発芽予測日(平年値との差)			
	幸水	豊水	南水	二十世紀
平年 -1℃	4/4 (1)	3/29 (-2)	4/3 (1)	3/31 (-1)
平年並み	4/2 (-1)	3/27 (-4)	4/1 (-1)	3/29 (-3)
平年 +1℃	4/1 (-2)	3/26 (-5)	3/30 (-3)	3/28 (-4)
平年 +2℃	3/30 (-4)	3/24 (-7)	3/29 (-4)	3/26 (-6)
平年値	4/3	3/31	4/2	4/1
令和3年	3/29	3/27	3/28	3/28

予測には発育速度モデル(DVR法)を利用している。予測は南信農業試験場内の調査樹のデータをもとにした。気象データはアメダス飯田の特別気温を用いた。

予測日の()内は平年との差を表す【(2)なら平年よりも2日遅いことを示す】。

「平年」は場内での平成13～令和2年(2001～2020年)の発芽日、開花日、満開日の平均を表す。

(南信農業試験場)